

1学期を終えて

68日間（1年生は入学式を含め69日間）の1学期が本日終わりました。今年度の終業式は、全児童が体育館に集まり、集合形式で実施することができました。

「気持ちのよいあいさつができた」「いいなと感じたことに拍手で表現できた」「下駄箱に自分の靴をそろえて置くことができるようになってきた」などの浜口校長先生のメッセージから、子どもたちは高学年を手本にしてどんどん成長していき、自分たちの変化をじっくりと振り返っている様子でした。



校長先生のメッセージを聴いて、
自分の成長を振り返る子どもたち

その後、一人一人が充実した夏休みにするために、生徒指導部から「夏休みの過ごし方」の話をしました。特に、自分の大切な命や安全を守るために、「交通のルールやマナーを守ること」「水難事故に合わないために絶対にしてはいけないこと」「SNS やオンラインゲームでは世界とつながっており危険もあること」などを、真剣な表情で聴く子どもたちの姿が印象的でした。

明日からは39日間の夏休み。「今しかできないことにも挑戦して、家族と一緒に充実した時間を送ってほしい。」そう願いながら、元気に帰っていく子どもたちの後ろ姿を見送りました。



小学校の西側にあるひまわり畑。篠地区民生委員児童委員協議会のみなさんが、「子どもたちのために」と植えてくださったものです。今、満開です！